

2016. 1. 28

児童・生徒の紙面交流「先輩に聞いてみよう」について

小中連携教育推進委員会

1 ねらい

児童・生徒の交流会を通して、小学6年生が中学校生活への不安を解消したり中学校への見通しをもったりして小中の円滑な接続を図るとともに、中学2年生が先輩としての自覚をもったり中学校生活を振り返ったりして自分自身の生き方を見つめ直すことができるようにする。

2 内容

小学校6年生が「授業の受け方、家庭学習の仕方、予習・復習、テスト勉強、部活動、部活の勉強の両立、学校生活、友人関係、学校行事、進路、習い事、塾」などについて、先輩に聞きたいこと、楽しみにしていることを班でプリントにまとめる。

※ 4～6人の班で1枚にまとめさせる。 1組 6班 2組 8班 計14班

プリントの質問事項に中学2年生がアドバイス（答えやメッセージ）を書いて小学生に渡す。

小学6年生は返事を読んで、中学校生活で分かったことや安心したことなどを手紙に書いて伝える。

3 対象生徒・児童

神居小学校 富沢小学校 台場小学校 6年生全員

神居中学校 中学2年生

4 今後の日程

2月初旬 小学6年生が質問事項を考えプリントにまとめて、中学校に届ける。

※昨年の紙面交流を参考にして、総合や学級活動の時間で話し合い決定する。

2月16日（火）中学校入学説明会

2月中旬 中学2年生は、小学生の質問事項に返答するための作業を行う。

2月下旬 小学生は、中学校からの返答を読み合って中学校生活での見通しを深める。

中学2年生へお礼状（班で）を書く

3月上旬～中旬 小学6年生のアンケート 小・中の教職員の意見集約

【取組用紙】

『先輩に聞いてみよう』

4月から中学校に進学するにあたって、「授業の受け方，家庭学習の仕方，予習・復習，テスト勉強，部活動，部活の勉強の両立，学校生活，友人関係，学校行事，進路，習い事，塾」などについて，先輩（中学2年生）に聞きたいこと，不安に思っていること，楽しみにしていることを班でまとめて，アドバイスをもらおう。

6年（ ）組 班

班長	班員
----	----

	先輩に（中学2年生）に聞きたいこと，不安に思っていること，楽しみにしていることなど	答えやアドバイス
1		
2		
3		
4		
5		

《感想》

【取組の実際①】

『先輩に聞いてみよう』

4月から中学校に進学するにあたって、「授業の受け方、家庭学習の仕方、予習・復習、テスト勉強、部活動、部活と勉強の両立、学校生活、友人関係、学校行事、進路、習い事、塾」などについて、先輩（中学2年生）に聞きたいこと、不安に思っていること、楽しみにしていることを班でまとめて、アドバイスをもらおう。

神居小、6年（ ）組 班

班長	班員
----	----

	先輩に（中学2年生）に聞きたいこと、不安に思っていること、楽しみにしていることなど	返答やアドバイス
1	勉強の方法を変えましたか？ おすすめの勉強法などが あったら教えてほしいです。	中学生になったら1つの予習・復習に 取り組むことが大事です。 テストにも関わるので勉強時間を増やし、 自分が分かりやすいようにしましょう。
2	授業の内容を授業内で しっかり理解するには どうしたら良いですか？	先生の話をしっかり聞くことが大切です。 しかし、授業内でその内容を完全に理解 するのは難しいので復習をしっかりとしたい と思います。また、分からないことは先生に聞く といいと思います。
3	ノートの手書きのとり方を 具体的に教えてほしい です。	大事な所には線を引く、図形などは大きく 書くともよくなります。先生が話した言葉を しっかり聞き、ふき出しのようにして書くとも 理解しやすい。ノートの線を利用したり、色を つけたりするのもいいと思います。
4	友人関係の変化はあり ましたか？	他の学校からも友達に来るので緊張 はすると思います。でも共通点や 部活を通して話す機会を増やせば いいと思います。
5	部活と勉強をうまく両立 する工夫を教えてください。	部活と勉強にメリハリをつけるといい と思います。毎日ゴツゴツ勉強は負担 をかけるないようにしよう。部活を楽し むと勉強に集中できると思います。
《感想》		

神居中学校 2年

【取組の実際②】

『先輩に聞いてみよう』

4月から中学校に進学するにあたって、「授業の受け方、家庭学習の仕方、予習・復習、テスト勉強、部活動、部活と勉強の両立、学校生活、友人関係、学校行事、進路、習い事、塾」などについて、先輩（中学2年生）に聞きたいこと、不安に思っていること、楽しみにしていることを班でまとめて、アドバイスをもらおう。

神居小 6年()組 3班

班長	ハ	班員	ハ
----	---	----	---

	先輩に（中学2年生）に聞きたいこと、不安に思っていること、楽しみにしていることなど	返答やアドバイス
1	新しく増える教科は何かありますか。	技術や英語、数学があります。その分小学校までの継続で各教科それぞれをしっかりと勉強することが大切です。
2	中学校に進学して、1番戸惑った事はなんですか。	各教科で先生が変わり、移動教室や保健(体育)でシラジに着替えた感じがします。
3	1日勉強量は小学生の時とはくらべてどれくらい多かったですか。	1日の勉強量を増やしたり、毎日続けることが大切です。テスト前に追われてやる順番にテスト期間を過ごします。
4	家庭学習は1日何時間やっていましたか。また何時間やっていましたか。	家庭学習はテスト期間を中心に1時間～2時間はやっています。テスト期間以外もその日やった事を家でしっかりと勉強をすると点数上がるかもしれません。
5	中学校生活はとて楽しかったですか？	最初は先輩という存在とできて、緊張して慣れない事が多かった。2、3か月も経つと慣れて楽しんでいます。

《感想》

神居中学校 2年

児童の感想、教職員の反省

<神居小6年生児童～神居中2年生へのお礼の手紙より>

- ・ 先日は、私達の質問にととてもわかりやすく答えていただき、ありがとうございました。勉強の量や質、時間のことや、先輩達が戸惑ったことなどを知ることができました。なので、安心して進学することができます。進学してからも、よろしくお願いします。
- ・ 皆さんのアドバイスがとてもよくわかりました！ 一番心に残っていることは、勉強の仕方と部活のことです。何時間やるとか何時頃終わるとか、細かいことまで教えていただきました。中学校で部活やいろいろなことでごめいわくをかけると思いますが、よろしくお願いします。
- ・ アドバイスを読んで、勉強方法がよくわかりました。4月からは、皆さんの背中を見ながら、楽しく中学校生活を送りたいと思います。
- ・ 部活と勉強を両立するには、まず楽しもうという心が大切だということがわかりました。中学校に行ったら実際にやってみたいと思います。
- ・ わからなかったことがわかったので、中学校へ行くのがもっと楽しみになりました。
- ・ 家庭学習は復習を大切にする、授業ではノートには黒板に書いていないこともメモするなど、勉強についてくわしく書かれていたので参考になりました。
- ・ 私は勉強と部活の両立に少し不安がありましたが、皆さんの力強い言葉で少し安心できました。勉強もひと工夫するなど、学校生活を楽しくしたいと思います。
- ・ 中学校は小学校とちがって、服装などたくさんの校則があることや、勉強では家庭学習を1日3時間程度やるということなど、くわしく教えていただいたのでよくわかりました。

<教職員（神居小）>

- ・ 中学生への質問を考える際、4月からの中学校生活を思い浮かべながら、どの子も真剣に取り組んでいた。また、答えてくれる先輩方に失礼のないように、気を配りながら書いていた。
- ・ 児童のぼんやりした疑問に対して、具体的な数字や例を出して説明するなど、6年生にとって分かりやすい言葉で回答してくれた。
- ・ 担任があれこれ中学校のことを話す言葉より、在学中の中学生からの声の方がずっと説得力があり、児童は実感をもって受け止めていたようだ。
- ・ 制服のことや先輩との付き合い方などを知ることによって、自分達がきまりを守って生活しようという気持ちが芽生え、中学校生活に向けての心構えができてきた。
- ・ 部活や行事など、中学校生活に向けての期待感をもたせるような内容も多く、進学に対する不安よりも楽しみと考える児童が増えた。
- ・ 中学校の先生方にはご苦勞をかけるが、小中連携の「児童生徒間の交流」の柱として、今後も大事にしていきたい取組である。

<教職員（台場小）>

- ・グループで聞きたいことを一生懸命相談し、案を出し合っていた。まだ中学校に向けての意識はあまり高まっていなかったが、今回の取組を行ったことにより、全体の意識が卒業・進学に向いてきた。子どもたちが知っている中学2年生に答えてもらえたのもよかった。

<教職員（富沢小）>

- ・本校から3人の児童が神居中学校に進学し、他5人の児童は他区域の中学校に進学するが、今回は、どの中学校へ進学してもあり得るような一般的な内容の質問をさせていただいた。
- ・児童は緊張しながらペンを取り、中学校からの返信を楽しみにしている。どの子にとっても意義のある活動になった。

<教職員（神居中）>

- ・生徒は2年前の自分達のことを思い出しながら、「こんなこと心配してたかも…。」などと言いながら、回答を一生懸命考えていた。生徒個々がいろいろなアドバイスをたくさんもっているようで班での話し合いがまとまらない状態に陥りそうだったが、班のリーダーが話し合いをしっかり結論へと導いていた。
- ・紙面交流は入学説明会の後に行った方がいいかも知れない。質問の内容も変わってくると思う。今年度の場合はスキー授業や入学説明会と重なるので、来年度はもう少し早い時期にやった方がよいと思った。
- ・2年次の今年度は、神居小・台場小・富沢小の6年生と神居中の2年生との間で「紙面交流」を行ったが、神居中学校では昨年の取組を参考にしながら、2学年部の総力で生徒の指導にあたることができた。生徒も小学6年生の質問に答える中で、「まず自分の意見を書く」「次に班で意見交流して考え直した意見を書く」（先生方の赤ペン添削）「清書する」という取組を通して、自分自身の学習、生活、部活、進路などに対する姿勢を見つめ直すよい機会となったのではないかと思う。
- ・各校の小学6年生がこの取組を通してどのような変化があったのか、とても興味がある。
- ・3年次に向け、「紙面交流」あるいは「直接交流」の可能性も探りながら、時期や対象学年等を工夫することでよりよいものにしていきたい。ただ直接交流となると、神居小・台場小・富沢小の3校を対象に考えた場合、引率体制や交通手段などクリアすべき課題が多い。